

今年の武雄の給食はすごいぞ！！

～11月食育月間は「愛」と「驚き」の地産地消給食です！～

11月の「食育月間」に合わせて、武雄市内小中学校の給食では、武雄市産農産物を積極的に取り入れた給食を実施されます。特に今年は地産地消の取り組みとして、初めてパクチーを給食に使う試験的な取り組みとして「ぱくぱくパクチー給食」を実施します。

子供たちの笑顔をぜひ取材していただきますようお願いいたします。

【日時】【場所】

日時			学校名	メニュー
11/11	月	12:15～13:00	山内東小学校 訪問給食あり	★シークレット★ ちくわの磯部あげ
11/14	木	12:05～12:50	朝日小学校	ドーナツ
11/14	木	12:15～13:00	東川登小学校	ちくわの磯部あげ
11/14	木	12:15～13:00	西川登小学校	ちくわの磯部あげ
11/15	金	12:10～12:45	武雄中学校	ドーナツ
11/15	金	12:20頃～	川登中学校	ドーナツ

【★シークレット★について】

11月11日（月）の山内東小学校は、パクチーを使っているという献立を内緒にして実施されます。献立紹介の校内放送にて児童にお知らせされます。

【訪問給食について】山内東小学校のみ

生産者の江口農園さんからパクチー栽培の担当者様1名、武雄市営業部 佐々木理事の計2名が給食を試食し、各教室を訪問し児童と交流されます。

【ぱくぱくパクチー給食開催の意図】

武雄産パクチーは栽培から12年を迎え、全国の料理店で愛される野菜に成長していますが、香草のため、家庭によって食べる・食べないの差がある野菜でもあります。地産地消を推進する農林課として、全国から愛される武雄産パクチーを地元でももっと愛されてほしい！と、パクチーが苦手な人も食べられる献立を研究し、給食で提供できる献立を開発しました。

この取り組みを通して、パクチーが調理次第では思った以上に食べやすい野菜であることの「驚き」と「発見」による「楽しさ」を提供し、子供たちの「食への好奇心を深めたい」と考えています。また、「食べる機会の提供」をすることで、「食べたことがある」、という地場産野菜への愛着の形成へつなげていきたいと考えています。

【ぱくぱくパクチー給食実施までの経緯】

- 6月 パクチーが給食に活用できないか検討を始める。(愛媛県東温市のパクチー給食の報道を受けて)
- 7月 パクチーが苦手な方もいるので、どうすれば誰もが食べやすいパクチー給食ができるのか、という課題を解決するために、栄養教諭6名による献立研究会を開催しました。
- 8月 献立研究会で試作した2種類(ちくわの磯部あげ、ドーナツ)を使って、「パクチーが苦手な方向けの試食会」を開催し、アンケート調査を実施しました。(調理は食生活改善推進委員さんの協力を得て行いました。)



○アンケート結果(全体 103)

試食前の苦手度			試食後の苦手度	
苦痛で食べられない	12	→	1	11人減!!
積極的に食べようとは思わない	65	→	50	15人減!!
食べたことがない	26		好きになっちゃいました	52!!

「積極的に食べようとは思わない」の回答の自由記述等では、おいしかった、食べられた等好意的な意見が60%以上あったことから今回、パクチー給食が実施できると判断しました。

○9月 今回、学校長、栄養教諭、給食調理員等を実施を依頼し、6校にご協力いただき、パクチー給食を実施することができることになりました。

○試験的な取り組みの為、給食食材費を農林課が負担しています。

イメージ



パクチー入りちくわの磯部揚げ



パクチードーナツ

— 本件に関するお問い合わせ先 —

武雄市 農林課 農政係 TEL 0954-23-9335